



文部科学省 令和6(2024)年度ユネスコ未来共創プラットフォーム事業

ユースフォーラム

「今から、ここから、わたしから」
—ユースが集い、創るユネスコ活動の未来—

開催要項

1. 背景

現在、日本各地ではユネスコスクール、大学ユネスコクラブ、地域ユネスコ協会、NPO・NGO 団体、企業、自治体など、多様なステークホルダーがユネスコに関連した活動を行っており、その多くでユース世代が活躍している。その一方で、ユースによるユネスコ活動には課題も存在する。

第一に、活動の継続性である。ユネスコスクールや大学ユネスコクラブ等で活動している児童・生徒・学生等は、在学中は熱心に活動に取り組んでいるにもかかわらず、卒業後に活動する場を失い、継続できていない現状が多く見受けられる。一方で、地域ユネスコ協会やNPO・NGO 団体など、所属年数に比較的制限の少ない活動拠点も数多くあり、そういった活動拠点間の縦断的な交流の場が必要であると考えた。

第二に、活動分野間の隔たりである。ユネスコ活動と一口に言っても、その活動の分野は、多岐に渡る。それぞれの個別の分野で熱心に活動に取り組んでいても、分野間の交流は少ないように思われる。多様な分野を包括していることがユネスコ活動の良さの一つであると考え、多岐に渡るユネスコ活動の分野の横断的な交流の場が必要であると考えた。

以上二つの課題に向けた解決の糸口として、本フォーラムを開催する。とりわけ今年度のユースフォーラムでは、対面・オンラインを問わず、日本各地から参加したユースが、ユースフォーラムのその瞬間、その場から、そしてこれからのユースによるユネスコ活動を活性化させていく当事者として、未来を「共創」する場としたいという思いから、『「今から、ここから、わたしから」—ユースが集い、創るユネスコ活動の未来—』というテーマを設定した。本フォーラムの実施を通して、世代や活動分野を越えたユース同士の交流が活発化し、ユネスコ活動の持続的な発展、更には国際的な発展も期待している。

2. 目的

ユネスコに関連する活動に取り組んでいるユースの世代縦断的、分野横断的な交流、ネットワーキングの場を創出し、ユースによるユネスコ活動の活性化を図る。

3. 日時・場所

日時 2024年12月1日(日) 10:30~17:30
場所 対面会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟レセプションホール他
(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1)
オンライン：参加登録者された方へ Zoom リンクをお送りします。

4. 対象者

世代やユネスコ活動の経験を問わず、すべての方を歓迎します。特にユネスコ活動に関心のあるユースの方を対象とします。また、世代間の対話を深めるため、ユース世代以上の方の参加も歓迎します。なお、本イベントでは「ユース」に明確な定義は設けず、10代~30代の幅広い年齢層を想定します¹。

5. 言語

日本語

6. 参加申込

参加費：無料

期間：10月16日(水)~開催日当日

※ 対面会場は定員に達し次第締め切りとなります。早めにお申し込みください。

定員	分科会 A【教育】	60名
	分科会 B【防災】	90名
	分科会 C【まちづくり】	40名

方法：特設サイト上のオンラインフォームより登録

<https://unesco-sdgs.mext.go.jp/unesco-week-03>



¹ 統計処理上、国連は便宜的に「ユース」を15歳~24歳までと定義しているが、この定義は普遍的なものではなく、常に使用する際の文脈が重要な指針となるものと指摘している。

7. 当日プログラム

全体進行: 谷垣徹(次世代ユネスコ国内委員会委員)

時間		内容
10:00-10:30	30分	受付/入室
10:30-10:45	15分	オープニング 開会挨拶 文部科学省 趣旨説明 小林真緒子(次世代ユネスコ国内委員会委員長)
10:45-11:05	20分	スペシャルインタビュー 「ユースによるユネスコ活動への期待」 河瀬氏へのインタビューをビデオにてお届けします！ 河瀬直美(映画監督/ユネスコ親善大使)  生まれ育った奈良を拠点に映画を創り続ける映画作家。一貫した「リアリティ」の追求はドキュメンタリーフィクションの域を越えてカンヌ映画祭をはじめ、世界各国の映画祭での受賞多数。代表作は『萌の朱雀』『殞の森』『2つ目の窓』『あん』『光』『朝が来る』など。世界に表現活動の場を広げながらも故郷奈良にて2010年から「なら国際映画祭」を立ち上げ、後進の育成にも力を入れる。東京2020オリンピック公式映画総監督、2025年大阪・関西万博のプロデューサー兼シニアアドバイザー、ユネスコ親善大使を務める他、CM演出、エッセイ執筆、俳優などジャンルにこだわらず活動を行う。
11:05-11:30	25分	パネルディスカッション 「ユースによるユネスコ活動のこれから」 モデレーター: 末吉里花(一般社団法人エシカル協会代表理事) パネリスト: ママードウア・アイダ(金沢大学准教授) 永野蛍(世界ジオパークネットワーク・ユースフォーラム日本代表) 東和佳奈(次世代ユネスコ国内委員会委員)
11:30-13:00	90分	休憩 ユース団体によるポスター展示、企業・団体展示の見学及び交流
13:00-15:00	120分	分科会 A【教育】「みんなで作る『これからの学び』のカタチ — ユネスコの勧告を手がかりに—」 <第1ミーティングルーム>

		<p>モデレーター：川端優木（次世代ユネスコ国内委員会委員） 講師：永田佳之（聖心女子大学、日本国際理解教育学会長） 運営協力：玉川大学ユネスコクラブ 奈良教育大学ユネスコクラブ 特定非営利活動法人グローバルプロジェクト推進機構</p>
		<p>分科会 B【防災】「ユネスコの視点で防災を学び、実践する ―未来に生きる防災―」 <レセプションホール> モデレーター：溝渕実槻（次世代ユネスコ国内委員会委員） 講師：安川総一郎（UNESCO 自然科学局防災課長） 柿崎喜宏（室戸ジオパーク推進協議会地質専門員） 運営協力：長岡技術科学大学学生 SDGs プロモーター</p>
		<p>分科会 C【まちづくり】「共に考える『我がまち』の未来 ―ユネスコ創造都市ネットワークを事例に―」 <第2ミーティングルーム> モデレーター：長澤パティ明寿（次世代ユネスコ国内委員会委員） パネリスト：井上貴至（山形市副市長） 鈴木彩子（山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局） 沓澤紗子・鈴木智也（ドキュ山ユース） 運営協力：青山学院大学ユネスコサークル Le Lien</p>
15:00-15:20	20分	休憩
15:20-17:10	110分	<p>ワークショップ 「My UNESCO Story Map ―これまでのユネスコ活動を振り返り、継続・発展させるためのヒントを得よう！―」 講師：金田晃一（株式会社 NTT データグループ サステナビリティ経営推進部） 横川結香（株式会社ファーストリテイリング サステナビリティ部） 郡山鈴夏（フォッサマグナミュージアム ／糸魚川ジオパーク協議会） 沖田広希・谷垣徹（次世代ユネスコ国内委員会委員）</p>
17:10-17:30	20分	<p>クロージング フォーラム全体を通してのまとめ 閉会挨拶</p>

※ 内容は随時更新いたします。

※ スケジュールは変更の可能性があります。

※ 昼食は提供されません。各自ご持参または施設内や近隣の飲食店等をご利用くださいますようお願いいたします。また、昼食時間帯にはユース団体によるポスター展示、企業・団体展示がありますので、ネットワーキングの場として積極的にご活用ください。

8. 実施体制

【主催】

文部科学省

日本ユネスコ国内委員会

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)



文部科学省



【共催】

国連教育科学文化機関(UNESCO)



9. 問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU) 教育協力部

担当: 新井

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

電話 03-5577-2852 / FAX 03-5577-2854

Email education@accu.or.jp